

●大会運営に関する取り決め事項（軟式野球）

＜開催要項＞

1. 競技規則

本大会は、当年4月1日公認野球規則、競技者必携規則により実施される。ただし、本大会特別規定を別に定める。また、競技規則（特別規定を含む）に違反したチームは失格とする。

2. 競技方法

トーナメント戦方式

3. チームの構成

（1）1チームは、引率責任者・監督・コーチ・マネージャー各1名、選手18名以内とする。

（2）出場選手は、必ず引率責任者（当該校教諭）によって引率され、引率責任者はすべての行動に対して責任を負うものとする。また、ユニフォーム等は、統一のものとすること。

4. 大会使用球と用具・装備

（1）使用球

大会使用球は、連盟新公認（ガセツコ）の軟式ボールM号球とし大会本部で準備する。

（2）使用バット

①金属・ハイコンバット（複合）は、JSBBのマークをつけた公認のものに限る。

②雷発生の危険に備えて、木製のバットも持参すること。

③マスコットバット・素振り用パイプ・リングを球場内に持ち込まないこと。

（3）ヘルメット・レガーズ

打者・次打者・走者及びコーチは、安全マーク（SG）のついた連盟公認（JSBB）の軟式野球用ヘルメット（両耳）を着用すること。捕手は、マスク・キャッチャーヘルメット・レガーズ・プロテクター・ファウルカップを着用すること。

5. 組合わせ

大会本部にて抽選で行う。その結果を大会前日までに代表者に通知する。

＜大会特別規定＞

1. 競技上の運営規定

（1）打順表と攻守の決定

第1試合は開始50分前、第2試合以降は前試合の2回終了時に、打順表4通（選手名のフリガナ、控え選手も含む）を主将が本部に提出して、照合を受けた後攻守を決定する。

※コールドゲーム等で前試合が早く終了する場合があるので注意すること。

①基本的に参加申込書類提出後は、選手の変更・追加及び背番号の変更は認めないが、万一の場合は、大会本部に申し出ること。（代表者会議までは認めるものとし、変更の用紙を持参すること）

②試合時間に遅れるか、人数が揃わないか、その他試合時間になっても試合のできる状態のとれないチームは、原則として棄権とみなす。又、ベンチは、抽選番号の若いチームを一塁とする。

（2）雨天（天災等）による試合継続の判断及び方法については、大会本部で特別に定めるものとする。

2. 審判上の注意事項

（1）試合回数と延長等

①試合回数は7回とし、7回に満たなくても制限時間を越えた場合には、次の回には入らない。

※制限時間・・・1時間40分とする。

②試合の成立は、決勝戦は4回、決勝戦以外は3回とする。雨天等によりコールドゲームとなった場合、再試合ではなく試合の継続として再開する。尚、日時については大会本部が決定する。

③得点差によるコールドゲームは、4回以降10点差とする。

④7回又は制限時間を経過して、同点の場合は延長戦とする。但し、延長においては、特別ルールを適用し勝敗を決定する。

※延長戦特別ルール・・・1死満塁からの攻撃とする。（継続打者の前打者から順に1塁・2塁・3塁走者として試合を開始する）

3. その他の注意事項

（1）連絡事項

競技中の疾病・傷病等の応急処置は主催者側で行うが、その後の処置については責任を負わない。
なお、参加者は健康保険証を持参する事。

※ 複数の選手が使用するであろう道具類等に関しては、各校にて除菌等のご対応をお願い致します。